

利用者ニーズをふまえた大井ふ頭中央海浜公園・潮風公園の整備を求める要望書

品川区内では、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催に際し、大井ふ頭中央海浜公園および潮風公園を会場として競技の実施が予定されており、品川区議会としまして、これを大変歓迎しております。

当区議会では、オリンピック・パラリンピックの開催がスポーツ振興や来訪者にやさしいまちづくりを進める絶好の機会と捉え、このたび「オリンピック・パラリンピック推進特別委員会」を設置し議論を始めております。

大井ふ頭中央海浜公園は、区民の憩いの場、各種スポーツの場として親しまれている公園であり、6面の野球場利用者は区民を含め年間で延べ10万人を超え、品川区民スポーツ大会はもとより、社会人大会や還暦チームの関東大会にも利用されている状況です。

また、潮風公園は、大都会の中で、海を身近に感じられるスポットとして、区民・都民に広く愛され、多くの来園者があり、当区議会としまして重要な公園であるととらえています。

つきましては、区内でオリンピック・パラリンピック競技を実施していただく際の競技場の新設および大井ふ頭中央海浜公園・潮風公園の整備に当たり、品川区議会として下記の事項を要望いたします。

記

- 1 オリンピック・パラリンピックの開催を契機として、スポーツ振興のより一層の充実を図ることと併せて、障害者スポーツの振興促進に取り組まれない。
- 2 大井ふ頭中央海浜公園における競技場の新設に際しては、区民・都民の貴重なスポーツの機会が失われることとならないよう、現状の利用ニーズをふまえ、代替施設の確保にご尽力されたい。
- 3 新設する競技場は、競技大会閉幕後の有効活用を念頭に、スポーツ環境の一層の整備を企図し、ホッケーのみならず多目的な利用に適う構造とされたい。
- 4 潮風公園については、海辺の公園という立地上の特色を活かしつつ、しおかぜ橋の復旧を進め、エリア毎にテーマを持たせた多様な楽しみ方ができる仕組みを検討され、区民がより一層親しみの持てる公園とされたい。
- 5 品川区内の大井町等から潮風公園へのアクセスとして、一般道が開通予定である国道357号線を活用した都営バスの直行便の開設や、水上交通の活用など、多角的な整備に努められたい。

以上

平成26年9月17日

品川区議会議長

石田 秀 男

東京都オリンピック・パラリンピック準備局長

中 嶋 正 宏 様